



2024年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年5月10日

上場会社名 オプテックスグループ株式会社
コード番号 6914 URL <https://www.optexgroup.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島 達也
問合せ先責任者 (役職名) 経理財務統括リーダー (氏名) 山脇 秀基
四半期報告書提出予定日 2024年5月14日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 077-527-9861

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第1四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	15,464	11.9	1,755	0.2	1,981	13.0	1,301	10.1
2023年12月期第1四半期	13,822	0.6	1,751	17.4	1,753	27.9	1,182	32.1

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 2,236百万円 (45.8%) 2023年12月期第1四半期 1,534百万円 (34.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	36.65	36.34
2023年12月期第1四半期	33.29	33.05

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	70,065	45,811	64.9
2023年12月期	67,127	44,271	65.3

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 45,449百万円 2023年12月期 43,842百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期		20.00		20.00	40.00
2024年12月期					
2024年12月期(予想)		20.00		20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	30,600	12.5	3,200	20.3	3,200	9.2	2,400	20.9	67.55
通期	61,000	8.2	6,600	11.9	6,600	5.5	5,000	8.5	140.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期1Q	37,735,784 株	2023年12月期	37,735,784 株
期末自己株式数	2024年12月期1Q	2,152,232 株	2023年12月期	2,211,094 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年12月期1Q	35,527,398 株	2023年12月期1Q	35,524,964 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・決算補足説明資料につきましては、決算発表後一週間以内に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「ベンチャースピリット溢れる企業集団を目指す。」を企業理念とし、グループ本社の機能を充実することで、各事業会社の相互連携を強化し、グループ全体での間接コストを抑制して、利益成長を加速させることを経営方針に掲げております。

本年度の重点施策として、「ソリューション提案事業」への移行を効果的に進め、各事業の成長と収益性向上を目指しております。また、2024年に新設した「サステナビリティ基本方針」に基づき、事業を通じて様々な環境・社会課題を解決することで、社会の持続的な発展への貢献と企業価値の最大化に向け邁進しております。

当第1四半期連結累計期間は、SS事業及びIA事業のMECT関連が順調に推移したことや、為替の影響等により、売上高は154億64百万円と前年同期に比べ11.9%の増収となりました。利益面につきましては、売上構成比の変化等により原価率が上昇したことに加え、為替の影響等により販売費及び一般管理費が増加した結果、営業利益は17億55百万円（前年同期比0.2%増）、経常利益は19億81百万円（前年同期比13.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億1百万円（前年同期比10.1%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメント内の収益の分解情報のうち「SS事業」において、従来「防犯関連」及び「その他」に含めていた「社会及び環境関連」の量的な重要性が増したため、「社会・環境関連」として記載する等、区分方法を変更しております。以下の前年同期比較については、変更後の区分に組み替えた数値で比較しております。

① SS事業

SS事業は、売上高70億75百万円（前年同期比15.6%増）、営業利益は11億65百万円（前年同期比67.9%増）となりました。

防犯関連は、売上高は46億74百万円（前年同期比19.2%増）となりました。海外ではインフレなどの影響を受けたものの、ヨーロッパで屋外用センサーの販売が順調に推移しました。また、国内では警備会社及び大型重要施設向けの販売が順調に推移した結果、前年同期実績を上回りました。

自動ドア関連は、国内での販売が伸び悩みましたが、米国及びヨーロッパ向けの販売が前年同期並みで推移し、為替影響により売上高は18億6百万円（前年同期比4.2%増）となりました。

社会・環境関連は、国内及び米国での車両検知センサーの販売が順調に推移した結果、売上高は5億93百万円（前年同期比28.0%増）となりました。

② IA事業

IA事業は、売上高80億89百万円（前年同期比8.6%増）、営業利益は売上構成比の変化による原価率の上昇等により、7億29百万円（前年同期比23.7%減）となりました。

FA関連は、国内では半導体関連向けの販売が堅調に推移しましたが、海外ではヨーロッパにおける顧客の在庫調整及び中国における設備投資需要の低迷の影響を受け、販売が低調に推移した結果、売上高は19億51百万円（前年同期比25.2%減）となりました。

MVL関連は、国内では半導体、電気・電子部品向けの販売が伸び悩みました。また、海外では米国及びヨーロッパ向けの販売が低調に推移した結果、売上高は33億68百万円（前年同期比3.8%減）となりました。

IPC関連は、半導体製造装置及び医療機器向けの販売が堅調に推移したことにより、売上高は12億23百万円（前年同期比10.5%増）となりました。

MECT関連は、二次電池製造装置の納入が順調に進んだことから、売上高は15億46百万円（前年同期比570.5%増）となりました。

③ EMS事業

EMS事業における外部顧客への売上高は、生産受託案件が順調に推移したことにより1億75百万円（前年同期比37.1%増）となりました。営業利益はグループ内製品の製造量が減少した結果、1億69百万円の営業損失（前年同期は2億39百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は700億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億38百万円増加しました。

流動資産は554億62百万円となり、28億26百万円増加しました。これは主に、売上高の増加により受取手形及び売掛金が19億54百万円増加したことに加え、原材料及び貯蔵品等の棚卸資産が4億69百万円増加したことによるものであります。

固定資産は146億2百万円となり、1億11百万円増加しました。これは主に、償却等により顧客関係資産等の無形固定資産が26百万円減少したものの、建設仮勘定等の有形固定資産が1億19百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は242億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億98百万円増加しました。これは主に、長期借入金等の固定負債が3億54百万円減少したものの、短期借入金並びに支払手形及び買掛金等の流動負債が17億52百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は458億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億40百万円増加しました。これは主に、為替換算調整勘定等のその他の包括利益累計額が9億30百万円、利益剰余金が5億91百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の業績見通しについては、2024年2月14日に公表いたしました予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,119	17,372
受取手形及び売掛金	12,112	14,066
有価証券	505	407
商品及び製品	6,807	6,302
仕掛品	3,709	4,190
原材料及び貯蔵品	10,338	10,832
未収還付法人税等	240	239
その他	1,868	2,115
貸倒引当金	△66	△64
流動資産合計	52,635	55,462
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,468	3,485
機械装置及び運搬具(純額)	404	406
工具、器具及び備品(純額)	943	967
土地	2,529	2,547
建設仮勘定	212	271
使用権資産	249	250
有形固定資産合計	7,807	7,927
無形固定資産		
特許権	194	173
商標権	257	241
顧客関連資産	332	292
のれん	946	1,010
その他	646	632
無形固定資産合計	2,377	2,350
投資その他の資産		
投資有価証券	1,621	1,547
長期貸付金	20	24
繰延税金資産	2,022	2,108
その他	674	677
貸倒引当金	△31	△32
投資その他の資産合計	4,306	4,324
固定資産合計	14,491	14,602
資産合計	67,127	70,065

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,792	3,599
短期借入金	4,921	6,439
1年内返済予定の長期借入金	1,792	1,492
未払金	1,718	1,966
未払法人税等	1,002	659
賞与引当金	812	704
その他	2,670	2,598
流動負債合計	15,710	17,462
固定負債		
長期借入金	3,931	3,518
繰延税金負債	639	696
再評価に係る繰延税金負債	22	22
退職給付に係る負債	1,528	1,531
役員退職慰労引当金	139	149
その他	884	873
固定負債合計	7,145	6,791
負債合計	22,855	24,253
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,798	2,798
資本剰余金	7,579	7,568
利益剰余金	34,388	34,980
自己株式	△3,589	△3,493
株主資本合計	41,177	41,853
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△53	84
土地再評価差額金	△5	△5
為替換算調整勘定	2,744	3,535
退職給付に係る調整累計額	△19	△17
その他の包括利益累計額合計	2,665	3,596
新株予約権	412	345
非支配株主持分	16	16
純資産合計	44,271	45,811
負債純資産合計	67,127	70,065

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上高	13,822	15,464
売上原価	6,593	7,790
売上総利益	7,229	7,673
販売費及び一般管理費	5,477	5,918
営業利益	1,751	1,755
営業外収益		
受取利息	18	24
受取配当金	2	3
投資事業組合運用益	26	—
為替差益	—	201
受取賃貸料	7	7
保険返戻金	5	0
持分法による投資利益	17	—
補助金収入	0	0
その他	29	12
営業外収益合計	107	250
営業外費用		
支払利息	15	16
為替差損	81	—
賃貸費用	2	2
持分法による投資損失	—	2
その他	4	2
営業外費用合計	105	24
経常利益	1,753	1,981
特別利益		
固定資産売却益	4	1
特別利益合計	4	1
特別損失		
固定資産除売却損	1	0
投資有価証券評価損	—	223
特別損失合計	1	224
税金等調整前四半期純利益	1,756	1,758
法人税、住民税及び事業税	394	546
法人税等調整額	178	△89
法人税等合計	573	457
四半期純利益	1,183	1,301
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,182	1,301

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	1,183	1,301
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	49	137
為替換算調整勘定	297	792
退職給付に係る調整額	4	5
その他の包括利益合計	351	935
四半期包括利益	1,534	2,236
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,533	2,236
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	SS事業	IA事業	EMS事業	計				
売上高								
防犯関連	3,921	—	—	3,921	—	3,921	—	3,921
自動ドア関連	1,733	—	—	1,733	—	1,733	—	1,733
社会・環境関連	463	—	—	463	—	463	—	463
FA関連	—	2,608	—	2,608	—	2,608	—	2,608
MVL関連	—	3,501	—	3,501	—	3,501	—	3,501
IPC関連	—	1,107	—	1,107	—	1,107	—	1,107
MECT関連	—	230	—	230	—	230	—	230
その他	—	—	128	128	126	255	—	255
顧客との契約から生じる収益	6,119	7,448	128	13,695	126	13,822	—	13,822
外部顧客への売上高	6,119	7,448	128	13,695	126	13,822	—	13,822
セグメント間の内部売上高又は振替高	16	14	3,294	3,326	16	3,342	△3,342	—
計	6,136	7,462	3,422	17,021	143	17,164	△3,342	13,822
セグメント利益又は損失(△)	694	955	239	1,889	△13	1,875	△124	1,751

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、ソフトウェア開発及び環境体験学習運営等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△124百万円には、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	SS事業	IA事業	EMS事業	計				
売上高								
防犯関連	4,674	—	—	4,674	—	4,674	—	4,674
自動ドア関連	1,806	—	—	1,806	—	1,806	—	1,806
社会・環境関連	593	—	—	593	—	593	—	593
FA関連	—	1,951	—	1,951	—	1,951	—	1,951
MVL関連	—	3,368	—	3,368	—	3,368	—	3,368
IPC関連	—	1,223	—	1,223	—	1,223	—	1,223
MECT関連	—	1,546	—	1,546	—	1,546	—	1,546
その他	—	—	175	175	123	299	—	299
顧客との契約から生じる収益	7,075	8,089	175	15,341	123	15,464	—	15,464
外部顧客への売上高	7,075	8,089	175	15,341	123	15,464	—	15,464
セグメント間の内部売上高又は振替高	16	2	2,120	2,139	10	2,149	△2,149	—
計	7,091	8,092	2,296	17,480	133	17,614	△2,149	15,464
セグメント利益又は損失(△)	1,165	729	△169	1,725	△11	1,714	41	1,755

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、ソフトウェア開発及び環境体験学習運営等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額41百万円には、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 当第1四半期連結会計期間より、報告セグメント内の収益の分解情報のうち「SS事業」において、従来「防犯関連」及び「その他」に含めていた「社会及び環境関連」の量的な重要性が増したため、「社会・環境関連」として記載する等、区分方法を変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間の収益の分解情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。